＜　平成30年度　リュウキュウアユ保護活動取組の様子と地元新聞の紹介記事　＞

南海日日新聞　2018年（平成30年）7月24日

リュウキュウアユに歓声

住用小と東城小中

役勝川で5、6年生が観察会

夢中になってリュウキュウアユを観察する児童ら＝17日、奄美市住用町

（７月）　最初に，本土の鮎とリュウキュウアユの生態の違いや成長の仕方などについて，専門の先生から学び，その後，近隣の小学校と共に川へ行き実際に観察をした。

リュウキュウアユを守ろう

住用小児童ら産卵場整備

奄美市住用町・役勝川

（10 月）　児童･保護者･地域住民などと協力して校区を流れる川の，リュウキュウアユ産卵場所の清掃と川底の整地作業を行った。

2019年（平成31年）3月14日　南海日日新聞

大興奮！アユ観察会

住用小1～3年生8人

生態などを学ぶ

人工的にふ化させたリュウキュウアユを観察する児童ら＝9日、奄美市住用町

（３月）　校区内にあるリュウキュウアユ産卵孵化場で，人工授精によりふ化した稚魚や成長した生魚の観察を行った。

奄美新聞　2019年（平成31年）3月1日　金曜日

全国野生生物保護実績発表大会で奨励賞

住用小、2年連続の快挙

「保護活動でアユ守りたい」

リュウキュウアユの保護活動で2年連続の全国野生生物保護実績発表大会の奨励賞に輝いた住用小の児童ら

２００６年から取り組んできたリュウキュアユ保護活動の取組に対し，２年連続で

「公益財団法人日本鳥類保護連盟から奨励賞」

を受賞しました